

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	グッドスマイル鴨部		
○保護者評価実施期間	R8.1.20		R8.2.28
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	R8.1.20		R8.2.28
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	R8.2.1		R8.2.28
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	25	(回答数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	R8.3.9		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に動いていることで、フットワークとしては軽くなるため、児童や保護者の対応については早急に対応することが出来る場面が多い	保護者からの相談などに対して家庭訪問をしたりするなどの対応を行って、保護者だけではなく本人を含めた話をするなどの機会を作っている	継続的に行っていきながら、保護者、本人の不安の解消などに繋げていく
2	法人の中でのデイサービスとの連携を取りやすく、学校内での課題などに対しての支援を事業所内でも取り組んでもらうなどのことが出来る	定期的にデイサービスでの活動の様子などをするために訪問をして、取り組みの様子の確認を行った上で学校との共有を行っている	放デイの計画書の確認などを行った上で、事業所外での課題の共有を行っていく
3	不登校支援などを含めて児童のニーズ、学校の考え方なども含めてお互いの主張をバランスよく取り入れた支援を検討できる支援員が多い	不登校児童と一緒に登校する日を設定するなど、本人や保護者と相談しながら登校のきっかけになる場面を作っている	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個々に動いていることもあり、お互いの支援内容をすべて把握しているわけではないため、担当職員が対応できないなどの状況になった時には支援が止まってしまう可能性がある。	訪問先が遠い職員などもおり、出社のタイミングで訪問先に直接行くことや、個々に動いていることで、事業所にいるタイミングが合わないことなどが要因として考えられる 保護者対応や家庭訪問などもあることで難しい	月に何度かのミーティング機会を設定して、現状の支援の確認などを行う機会を作っていく必要がある
2			
3			